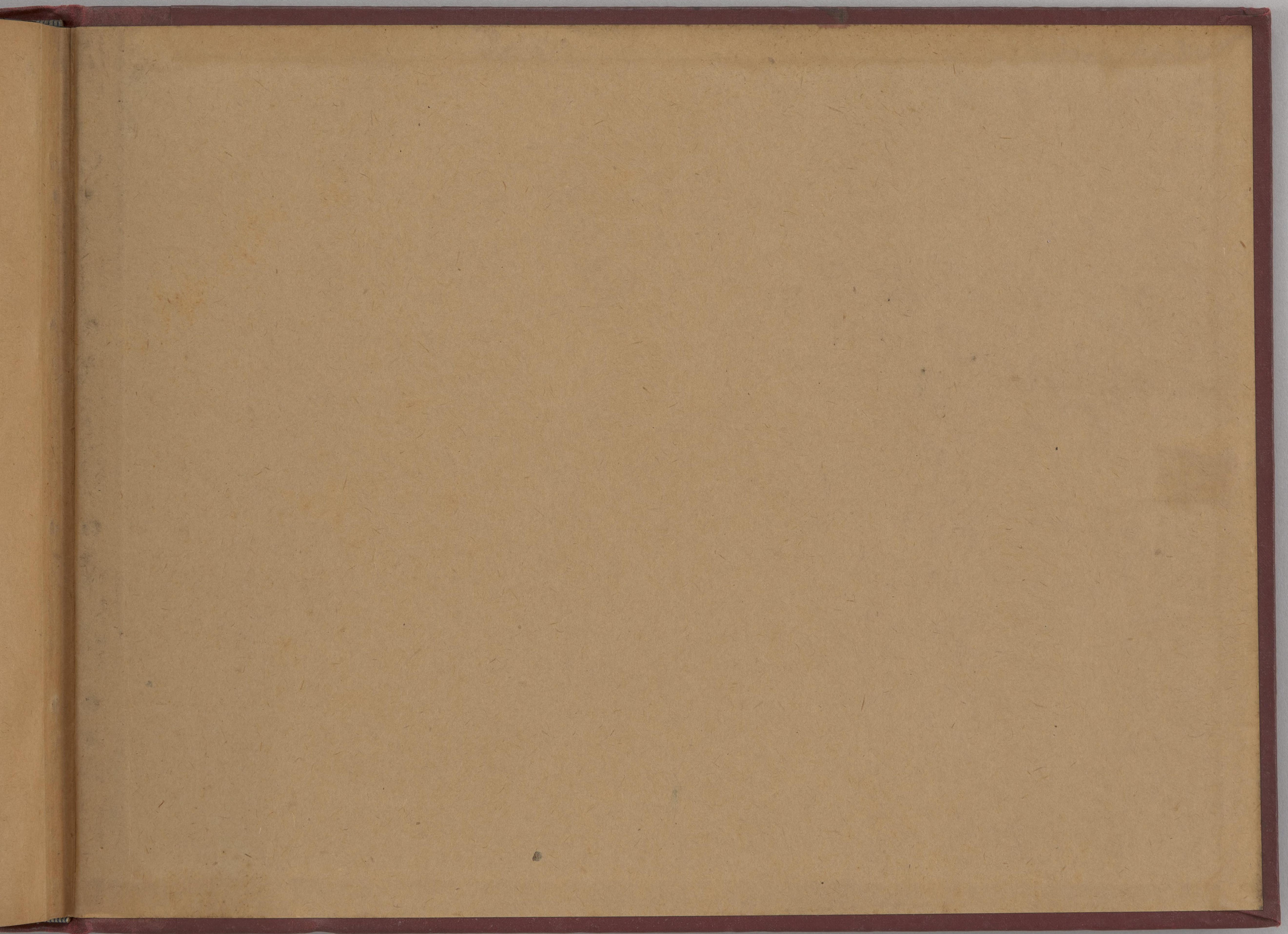


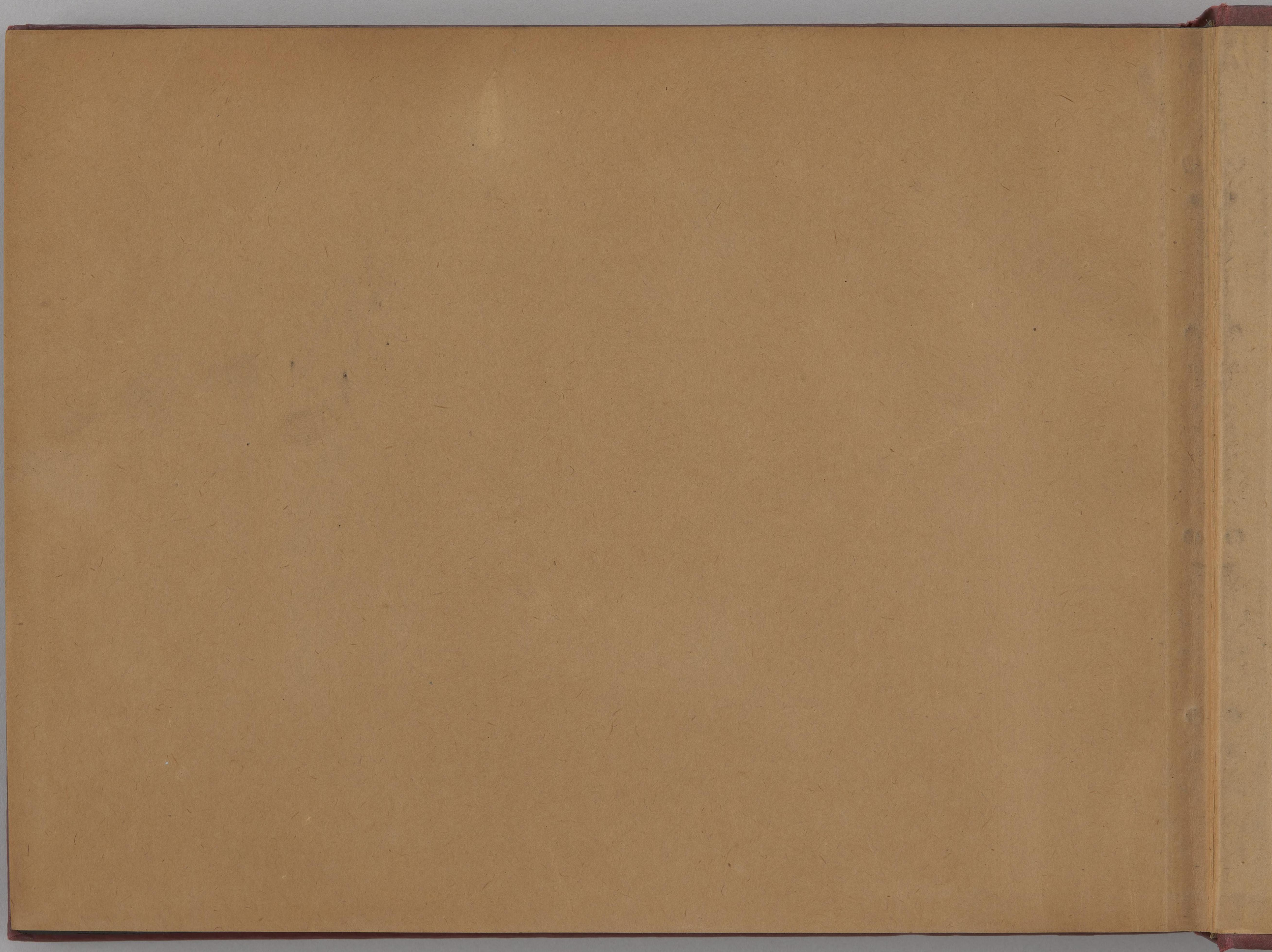
1201100595542



禁電子式複写











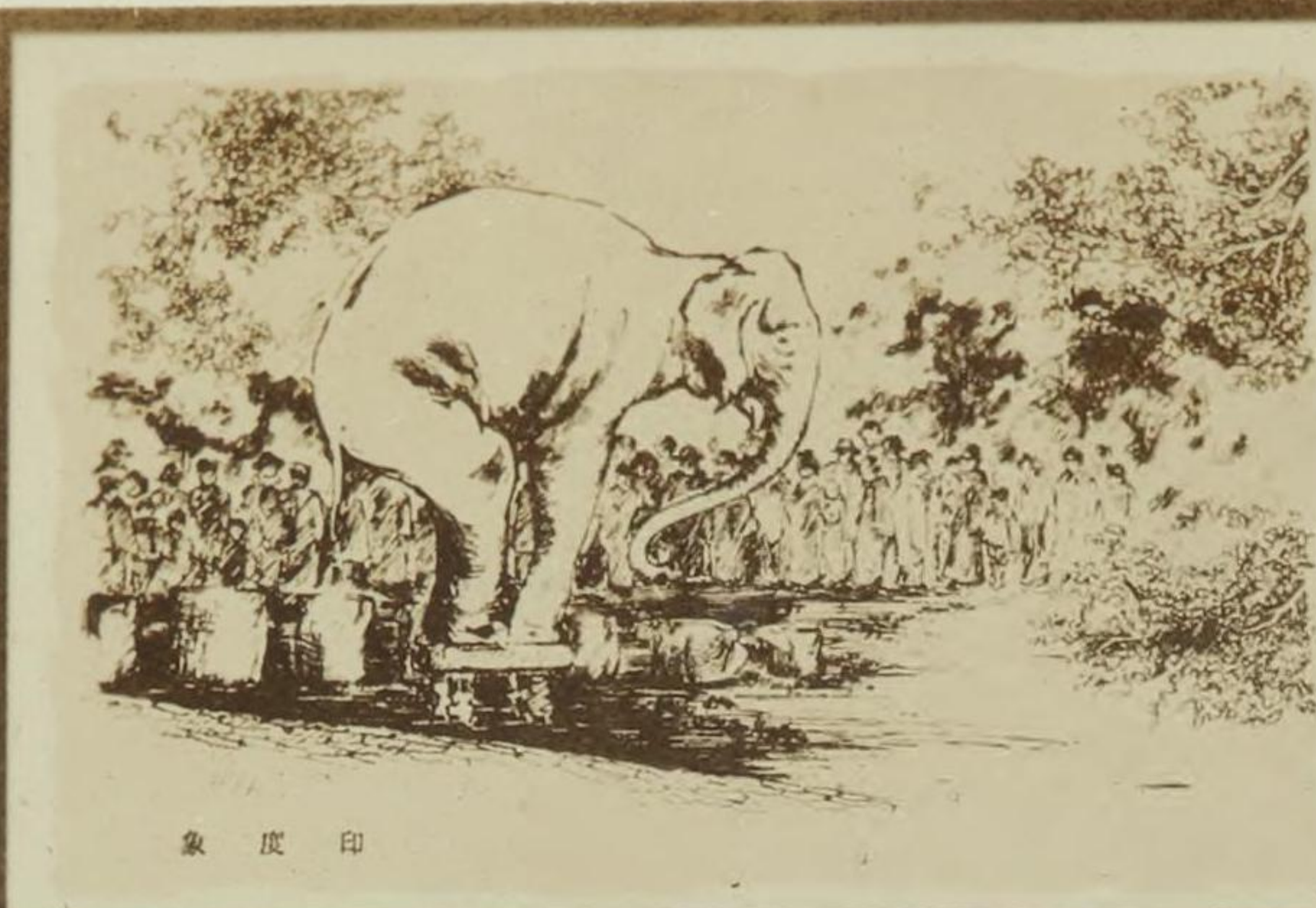
同盟 寫真ニュース 第四號

◎動物カードの入場券

(東京) 十一年四月一日

メツキリ陽氣もよくなつて來ました、上野の
樓もチラホラとその誇らし氣な聲を聞こう
と云ふとき嬢ちやん坊ちやん方の最もよいお
友達、上野の動物園ではスツカリ用意を整へ
て皆さん方のお出でを待つてゐますがお土産
がはりの記念となる様に動物繪入りの入場券
十六種を作製、一日から賣出しました
寫真は

一、繪入り入場券



象 度 印

園公賜恩野上市京東
券場入園物動



回一人一
錢十人小

本
取切切請門以券場入
下下請好石下

市京東



鴕 丹

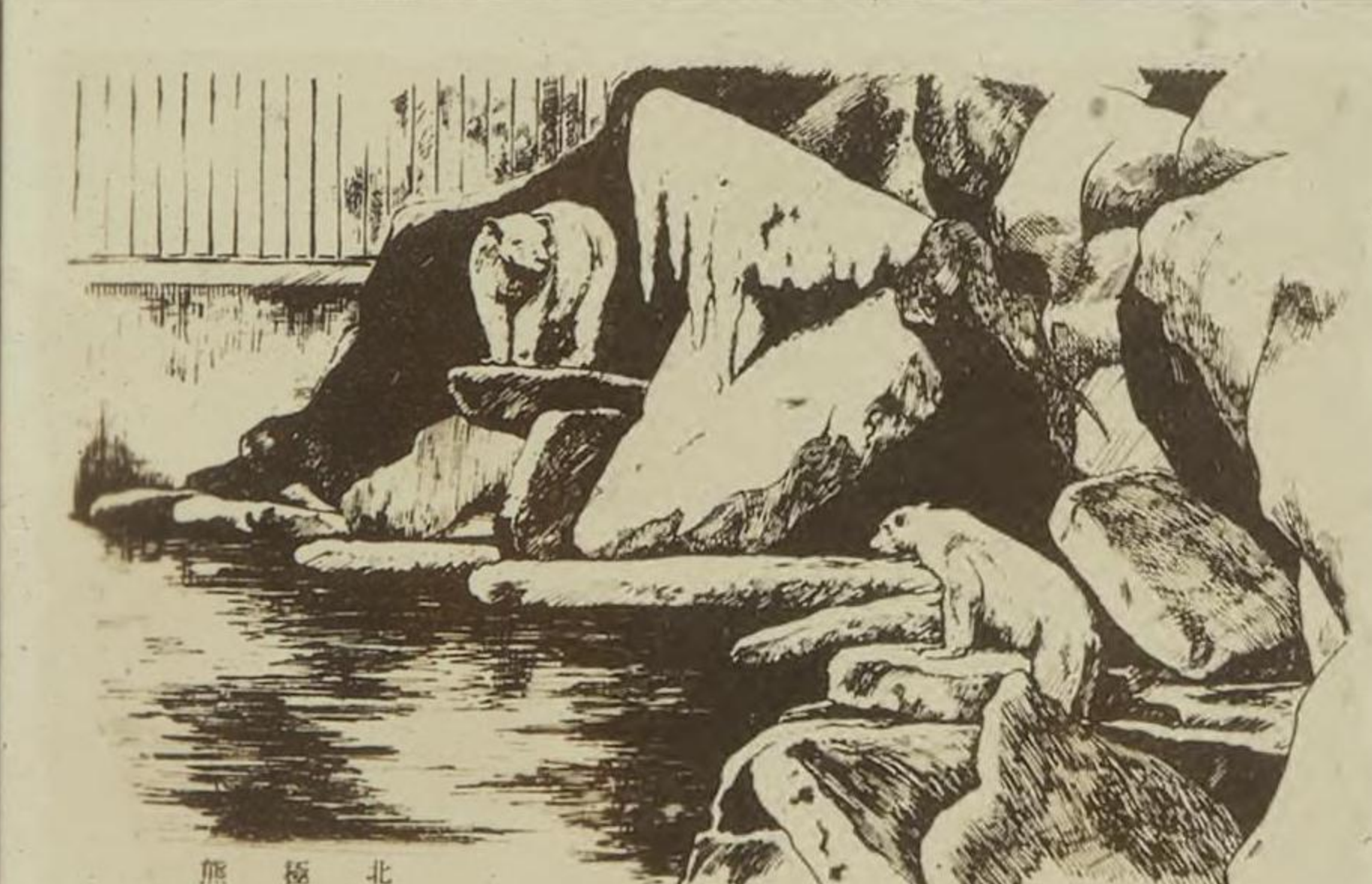
園公賜恩野上市京東
券場入園物動



回一人一
錢十人小

本
取切切請門以券場入
下下請好石下

市京東



熊 極 北

園公賜恩野上市京東
券場入園物動



回一人一
錢五十人大

本
取切切請門以券場入
下下請好石下

市京東



馬 河

園公賜恩野上市京東
券場入園物動



回一人一
錢十人小

本
取切切請門以券場入
下下請好石下

市京東

同盟 寫眞ニユース 第三號

◎博英王は「伏見伯」

正彦王は「音羽侯」

『兩若宮けふ臣籍御降下』

(東京)十一年四月一日

伏見宮博英王並に廿一日宮中三殿御參拜、天皇、皇后、皇太后三陛下に朝見の御儀を行はせられた朝香宮正彦王兩殿下は愈々一日海軍少尉に御任官、同時に臣籍に御降下、宮中に於て天皇陛下より親しく勅書を賜はり目出度く夫々御一家を御創立遊ばされた、この日兩殿下には通常禮装にて宮中に御參内、午前十時表御座所に於て松平宮相待立の下に天皇陛下に拜謁、陛下には博英王殿下に對しては「伏見」又正彦王殿下には「音羽」の御家名を賜ひ夫々華族に列せしめらるゝの勅書を賜ひ松平宮相より爵記、位記を傳達申し上げた寫眞は

一、伏見伯(左)と音羽侯(右)



同盟 寫眞 ニュース (番外)

◎ ナチス 音樂使節來朝

(橫濱) 十一年四月一日夜

ベートーヴェン物の演奏では世界一と稱せられるピアニストのウイルヘルム・ケンプ氏が夫人同伴で一日午後四時横濱入港のエムブレ・ス・オヴ・ルシア號で日本へ初の訪問をした。全國各都市で約十五回に互つて演奏會を開催することになつてゐる。

寫眞は

一、ケンプ夫妻と出迎の喜代三



◎岩越戒嚴司令官親補式

(東京) 十一年四月二日

東京警備司令官兼東部防衛司令官、戒嚴司令官香桂浩平中將は今回の不祥事件に關し責を負ひ去月廿三日の大異動の際勇退する筈であつたが現下の狀勢上戒嚴司令官の重職は一日も帝都を離れることを許さないものあるため更迭を延期中のところ後任司令官たるべき參謀本部附岩越中將が三十一日著京したので寺内陸相より内奏御裁可を仰いだ結兵天皇陛下には二日午前十時三十分宮中鳳凰閣に出御し廣田首相待立の上これが親補式を行はせられ岩越中將に對し親補の勅語を賜ひ首相より勲記を授け陛下入御遊ばされた

寫眞は

一、戒嚴司令部にて



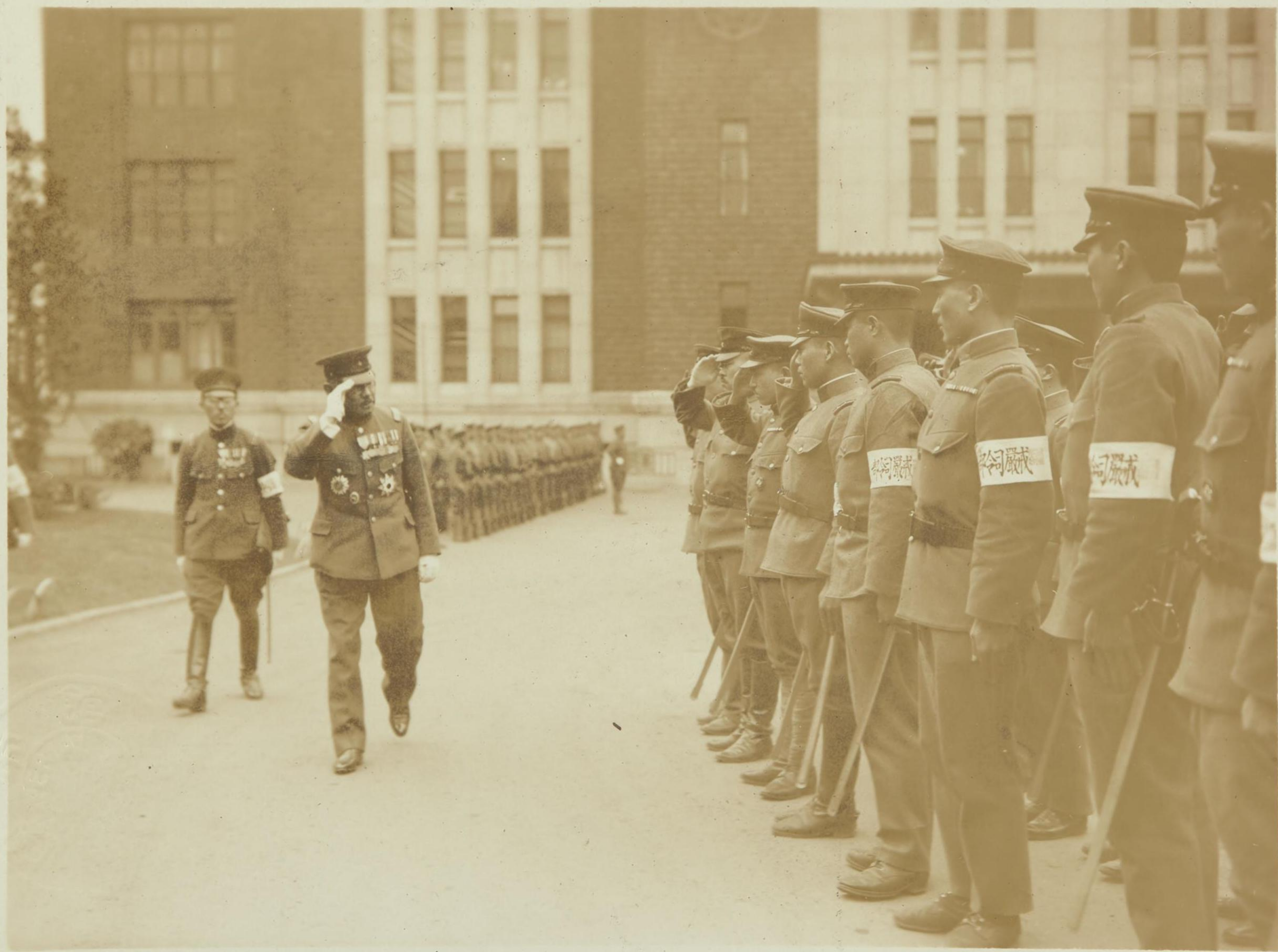
◎帝都の護りに不休の活動
待命となつた前司令官

(東京)十一年四月二日

待命となつた前戒嚴司令官香椎浩平中將は事變勃發當時東京警備司令官として治安の維持に當り、二十七日拂曉戒嚴令布かれるや同時に戒嚴司令官に任ぜられ叛軍鎮定に就て心魂を碎き、遂に廿九日朝のあの歴史的な放送となり、踏み誤れる兵を思ふ真情からあらゆる手居をつくした結果幸にして一刃を らず叛軍の原隊復歸は成つたのであつた。その後も香椎司令官は一ヶ月餘に亘つて自宅にも歸らず殆んど不眠不休司令部に立てこもつて帝都の護りに任じたのであつたが事變關係の責任の重大を痛感し去る廿三日の大異動の際待命となる筈であつたところ後任たる岩越中將の着任を待つて二日發令を見るに至つたものである

寫眞は

一、*香椎浩平中將*



同盟 寫真ニュース 第一號

◎彌次喜多五ヶ年計畫
―今昔スピード混淆で―

（東京）十一年四月二日

飛行機も「ツバメ」もある御時世に丁番時代
そのまゝの彌次喜多旅行がお江戸ならぬ大東
京を出發した、物好き連中の名は「和樂路會」
昔ながらの手甲脚絆、振分荷物に昔の笠と云
ふ扮装でユルリ／＼と五十三次を歩いて下ら
うと云ふ次第、所がこのクラシツクな旅行計
畫たるや超スロ―道中で第一年は日本橋から
戸塚迄、次は戸塚から小田原迄一年一宿近頃
流行の五ヶ年計畫で京都に着かうといふスピ
ード時代顔負けの有様、二日は朝七時六つの
子供から七十の爺さん、特に二人の女彌次、
喜多も交つて總勢四十人が勢揃ひの上神田驛
から省線で戸塚へそれから去年のバトンを受
けついで二日ばかりでノンビリと小田原迄テ
クリ始めた

寫真は

一、神田驛前の勢揃ひ



同盟 寫眞ニュース 第四號

◎花祭りのはしり

(東京) 十一年四月四日

全帝都の花祭りにさきがけて四日午後一時から佛教保育協會主催の幼稚園花祭りが上野動物園八角堂で開かれた、三日の雨ですつかり潔められた園内は櫻の蕾もチラホラ綻びて市内十二幼稚園児三百あまりが花祭りの唄を歌つて築地本願寺慈音得仁師先導で灌佛式の後遊戯、童話劇を行つて同三時散會した
寫眞は

一、拜禮の花子さん



同盟

スケッチ寫眞通信

四月五日

◎木蓮咲く



◎お肥立も健やかに

―義宮様三殿初御參拜―

（東京）十一年四月五日

第二皇男子義宮正仁親王殿下には御兩親陛下の限りなき御慈愛の下に御成長もいと御健やかに早くも御誕生百三十日を數へさせ給ひ五日皇室親族令の定めによりめでたき宮中三殿初御參拜の御儀を行はせられた、午前十時三十分義宮様には廣幡皇后宮大夫が御抱き參らせ黒田事務官御童形服を捧持して御後に隨つて御參進、賢所に初の御拜禮を遊ばされ次いで皇靈殿、神殿にも御拜禮こゝに晴れの重き御儀を御終了同十時四十分賢所御發宮殿に御歸還兩陛下に御對面あらせられた

寫眞は

一御車寄にて（宮内省御貸下）



◎第二皇子正仁親王殿下

一宮内省御貸下

(東京) 十一年四月五日

義宮正仁親王殿下には昨年十一月廿八日御誕生以來今日をもつて既に百三十日を數へさせられ天皇・皇后兩陛下の御愛撫の中にいと御健かに御成長あらせられ御誕生以來御風邪一つ遊ばされず御身長六二・三釐、御體重六・三疋に達せられた、毎日の御睡眠も十分に最近はよく御笑ひ遊ばされ御入浴は殊に御好みの御様子に拜し御日常の御服は白の和服を召され木綿又はネルの類をも御用ひ遊ばされる、五日には宮中三殿に初御参拜あらせられる、初めてその御可愛らしき御姿を拜すこの寫眞は三月三十日宮内省にて御謹影貸下になつたものである、寫眞は

一正仁親王御近影

(御注意 右御寫眞は宮内俱樂部の嚴重な申合に依り五日付朝刊紙以降に奉揚の事ウインドウ・號外等を以て同日以前に絶對發表なき様願ひます)



Vertical Japanese text on the right edge of the page, likely a name or title, partially obscured by the binding.

同盟 寫眞ニユース 第一號

◎支

◎支那大使信任狀捧呈式

(東京) 十一年四月六日

この程著任の駐日中華民國特命全權大使許世英氏は大禮服に威儀を正して王參事官外十三名の館員を従へ六日午前九時半宮内省差廻しの儀裝馬車にて迎引の岡本式部官同乗、一ヶ小隊の儀仗騎兵に衛られて參内、午前十時鳳凰の間に於て有田外相侍立の下に天皇陛下に謁見仰付けられ大使は恭しく信任狀並に前任大使の解任狀を捧呈終つて王參事官外十三名の館員にも謁を賜はり引續き許大使は夫人同伴桐間に進み皇后陛下に謁見仰付けられた、

寫眞は

一、許大使參内



◎南將軍晴の凱旋
—侍從武官東京驛へ御差遣—

(東京) 十一年四月六日

第三代關東軍司令官兼駐滿大使として在任一年有三ヶ月、滿洲國治安工作に赫々の威勳をたてた南次郎大將は今回參謀本部附に轉補され六日午前十時十分東京驛着列車で特に前關東軍參謀長として熱海まで出迎へた新參謀次長西尾壽造中將、林前參謀少佐及名波副官を從へて晴の凱旋をなした、この日長くも天皇陛下には凱旋將軍に準ずる禮を以て遇せられた、侍從武官を東京驛に御差遣遊ばされ、將軍は數々の武勳を物語る勳章を飾り軍旅に日焼けした元氣な赭顏を輝かしながら降りたち宮内省差廻しの馬車で參内した
寫眞は

一、凱旋の南大將



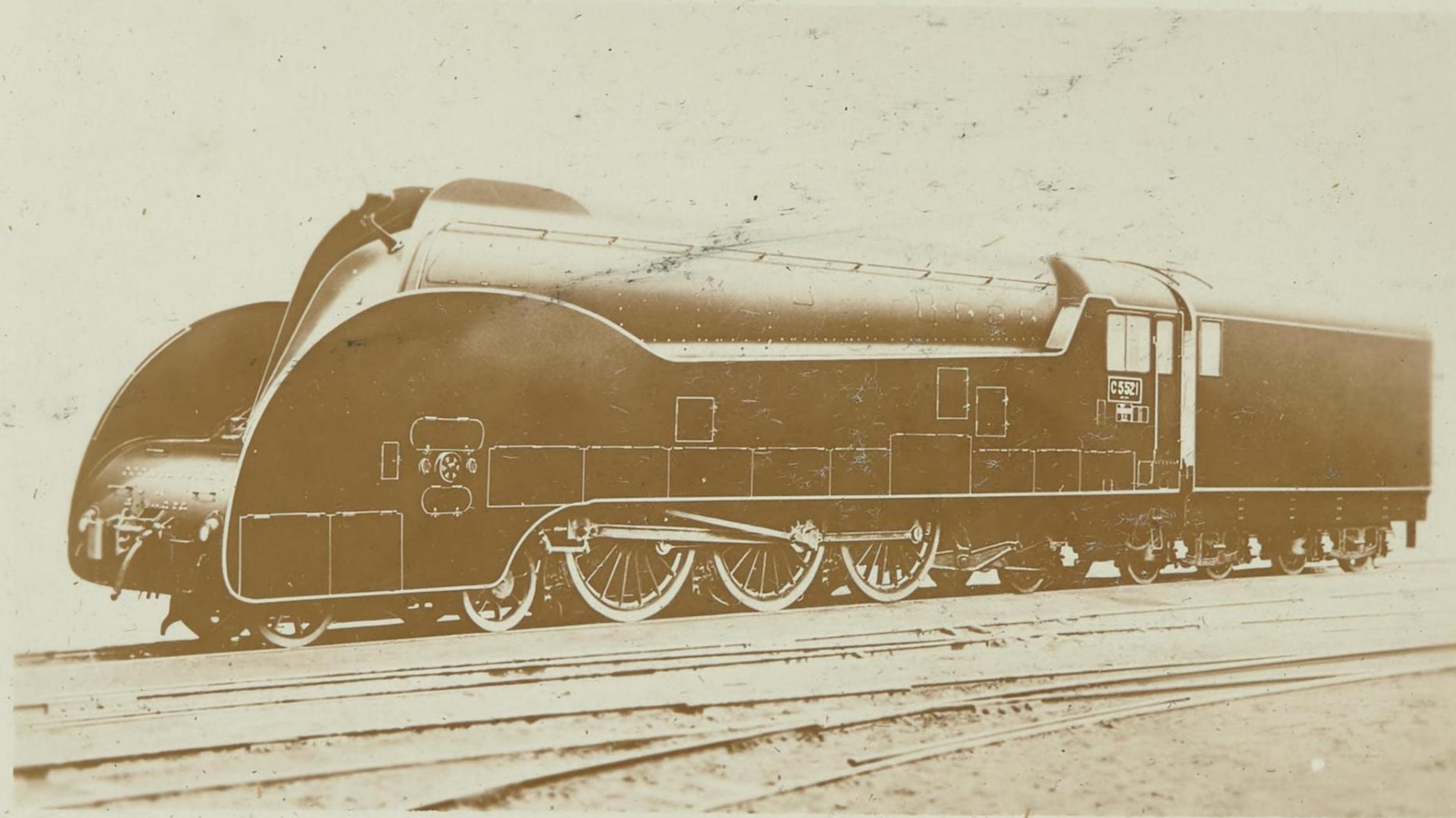
◎いよ
— 今月末各幹線に配車 —

（東京）十一年四月七日

鐵道省では前年度計畫として流線型蒸汽機關車〇五五（一輛約七萬圓）廿一輛を建造することゝしかねて川崎車輛始め民間各車輛會社に注文製作を急いでゐたが今月中旬には全部完成することゝなつた、よつて直ちに各鐵道局に二輛乃至三輛づゝ配車せしめ東海道、北陸、常磐、東北、山陽、九州本線等の各幹線の急行を牽引させるがこの〇五五型は總馬力一千百馬力牽引力十一トン六七、自重百十七貫、全長二〇米二八五、高さ三米九四五、外側は平均一ミリ六の鋼鐵板で張られた見るからにスピーディな感じで今月末から國鐵各幹線に配置されることになつた

寫眞は

一、流線型機關車



◎軍司令官師團長軍狀奏上

(東京) 十一年四月七日

本年度軍司令官、師團長會議に召集された

小磯朝鮮、柳川臺灣兩軍司令官、香月近衛
河村第一、岡村第二、建川第四、林第五、
谷第六、三毛第七、下元第八、松浦第十、
田代第十一、清水第十二、末松第十四、鈴木
本第十九、三宅第二十各師團長並に各師團
留守司令官、今村關東軍參謀副長、永見支
那駐屯軍參謀長

は七日午前十時三十分參内、表御座所に進み
閑院參謀總長宮殿下を始め奉り寺内陸相、宇
佐美侍從武官等侍立のもとに天皇陛下に拜謁
仰付られ軍司令官及び各師團長、留守司令官
よりそれぞれ管下の軍狀を伏奏有難き御言葉
を拜して御前を退下した

寫眞は

一、參内の寺内陸相



同盟 爲眞ニユース 第一號

◎肅軍の徹底を期す

↓軍司令官師團長會議

(東京) 十一年四月八日

陸軍空前の不祥事二・二六事件の善後處着と
國軍の建直しに關する重大協議を行ふ軍司令
官師團長會議第一日は八日午前九時から陸軍
省第一會議室に於て開會。小磯朝鮮、柳川登
灣軍司令官及び各師團長、中央部側寺内陸相
以下各局長關係部長等列席。劈頭寺内陸相よ
り今回の不祥事に鑑み軍の徹底的振肅と軍秩
の確保について重大訓示を述べ次で梅津次官
より諸般の事項に關する口演があつた後指示
事項につき協議を行ひ午後一時より懇談會を
續開。陸相を中心として各軍司令官、師團長
の間に重要意見の交換が行はれた

寫眞は

一、寺内陸相の訓示



◎孝宮様女子學習院御入學

(東京)十一年四月八日

孝宮和子内親王殿下には八日伏見宮光子女王殿下と御揃ひで女子學習院前期一年に御入學あらせられた、御嬉しい今日を御待ち兼ね遊ばされた孝宮様には此の朝中期一年に御進級の御姉宮照宮様と御揃ひで何時もの様に御拜所にて天皇皇后兩陛下の御眞影に御拜禮の後御可愛らしい御通身服にて御姉宮様と自動車に御同乗、藤井御養育給長、野口事務官、塘御養育掛等御供申上げ午前七時五十分吳竹寮御發女子學習院へ成らせられ午前八時半から入學式並に始業式に臨ませられた
寫眞は

一、御通學姿の孝宮様

一宮内省御貸下



同盟 寫眞ニュース 第一號

◎ラッセル伯市長と惜敗

(東京) 十一年四月九日

第十二回國際オリンピック委員長ラッセル伯は九日退京に先立つて午前十一時半牛塚市長を市役所に訪問し、滯京中の市の斡旋及び甲冑寫眞等の記念品を贈られたのに對し謝辭を述べた。牛塚市長が伯と握手を交しながら「どうが日本をお忘れにならないやうに」といへば伯は「一九四〇年には再び來訪して握手をしたいものだ」と親しい挨拶を交し同四十分辭去し、午後零時十五分東京驛發電車で横濱に向ひ同三時出帆の秩父丸で米國經由歸途についた寫眞は

一、東京驛にて(向つて右からラッセル伯、嘉納氏、牛塚市長)



同盟 寫眞ニュース 第一號

◎颯爽たる九五式新練習機

（東京）十一年四月九日

九五式一、二、三型の三種が新たに陸軍の練習機としてデビューした。

△九五式一型は中間練習機で速力に於いては數年前まで空軍の第一線に活躍してゐた甲四式戦闘機に勝り上昇力に於いては八八式偵察機を凌駕する高性能なもの

△九五式二型は現在滿洲航空が旅客機として使用してゐるフォツカ^{五七}と同型で数人乗の作業練習機、空中講堂とも云はれてをり速二百五十浬を出す

△九五式三型は初歩練習用ながら速力百七十、從來のサルムソンなどに比して遙かに性能の高いものでこれ^からの空の衛兵達はこれらの高性能練習機でミツチリ訓練されるわけである

寫眞は

一、九五式新練習機（上から一、二、三型）



◎日伊交換教授のセヴェリ氏

Ⅱ歸國に際し兩陛下に拜謁

(東京) 十一年四月九日

世界的數學者として令名ある伊國アカデミシヤン、フランチェスコ・セヴェリ氏は日伊交換教授の使命を帯びて日本に滞在數ヶ月、日伊學術親善に盡して愈々十日歸國することとなり九日午前十時三十分アウリツチ伊大使に伴はれて宮中に參内、鳳凰間に於て天皇陛下に謁見、畢つて夫人同伴、同大使と共に桐の間にて皇后陛下に謁見仰付けられた

寫眞は

一、參内のセヴェリ氏夫妻左はアウリツチ大使



◎皇太子殿下御傳育の重任
一石川別當に命ぜらる

(東京) 十一年四月十日

御世繼の尊き御身に輝かせられる皇太子殿下を御養育申上げる東宮傳育職員官制は十日官報を以て告示されたがこの光榮ある傳育官の重責を荷ふ五名の職員の中差當り左の如く首席として石川高松宮別當が十日選任された

別當從四位勳三等功七級

石川 岩 吉

任東宮傳育官

從高等官一等賜二級俸

高松宮御用掛被仰付

從三位勳二等 渡邊 勝三郎

任別當

敘高等官一等

高松宮附を命ず

寫眞は

一光榮の石川傳育官(右)と渡邊別當(松宮内道)



◎けふ昭憲皇太后祭
明治神宮で厳かな祭典

(東京) 十一年四月十一日

今十一日は昭憲皇太后崩御遊されてより廿二年この日明治神宮に於ては有馬宮司以下神官奉仕して昭憲皇太后祭を行つたが午前八時都下女學校代表並に東京府^{女子}青年團代表約百名が参拜、引續き一般参拜者で賑ひ、境内には生花弓の奉射等の催があり、夜は篝火を焚いて午後九時迄夜間参拜を許すことになつてゐる。なほ京都府伏見區桃山町古城山の御墓所に於ては勝田陵墓官以下職員奉仕して昭憲皇太后の御靈に禱を供し厳かな祭典を行つた

寫眞は

一 女學生の参拜



◎國際文化振興會三週年記念

1 高松宮兩殿下台臨

(東京) 十一年四月十一日

國際文化振興會では十一日午後二時より深川
清澄庭園に同會關係者を招いて創立三周年記
念祝賀會を開催した、この日や、肌寒い花曇
の中に定刻午後二時には招待の名士續々參集
同二時半大正記念館に於て祝賀式を舉行、副
會長徳川頼貞侯、理事長樺山愛輔伯、來賓代
表の三上參次博士の挨拶あり同三時總裁高松
宮同妃兩殿下の御台臨を仰ぎ園遊會に入つた
新響の奏する音楽の中に兩殿下には天ぶら、
壽司、蜜豆、サンドウキツチ等の模倣店に御
足を止めさせられ四時過ぎ御機嫌麗はしく御
歸還遊ばされた

寫眞は

一、台臨の兩殿下



◎ふだん着の人形使節

(東京) 十一年四月十二日

日本とアメリカの小學兒童の心と心をむすぶ
小さい國際親善の重い役目を背負つたお人形
が派遣される一行先は二十七ヶ國の兒童を
容就學させてゐるので有名なニューヨークの
ルーズヴェルト小學校。日本代表は東京女高
師附屬小學校介添役が國際文化振興會で先頭
から倉橋惣三、山田徳兵衛兩氏が日本兒童の
生活を表現に苦心して出來上つた二組
黒絞付に袴、振袖丸帶の禮裝姿と緋筒袖に
元祿袖に兵兒帶の普段着姿
來る二十四日附屬小學校で米大使等が參列し
て命名式を舉行、可愛いメツセーヂのほか、
同校生徒の作品を携へ五月早々鹿島立する
(寫眞はその人形)



◎風流象君の夜櫻見物

(東京) 十一年四月十二日

上野動物園では十一日から夜間開場をした園内あちこち赤、黄、青の電燈が夜櫻に交錯して素敵なこと、人氣者の象の花子さん、トンキーさんすつかり櫻に浮れて園内をのたりのたりと漫步夜櫻見としやれ、櫻の下に春駒ならぬ春象の珍妙お得意の漫藝を公開、坊ちやん嬢ちやん達をやんやんと喜ばした

(寫眞は花に浮れた象君)



同盟 寫眞 ニュース 第一號

◎宇垣朝鮮總督入京

(東京) 十一年四月十三日

東京の宇垣朝鮮總督は病める貞子夫人、令息令嬢等を帶同、十三日午前六時卅分横濱驛下車、雨中京濱國道をドライブ、嚴戒裡の四谷の私邸に入つた

寫眞は

一、自邸にて



◎凱旋將軍に御陪食

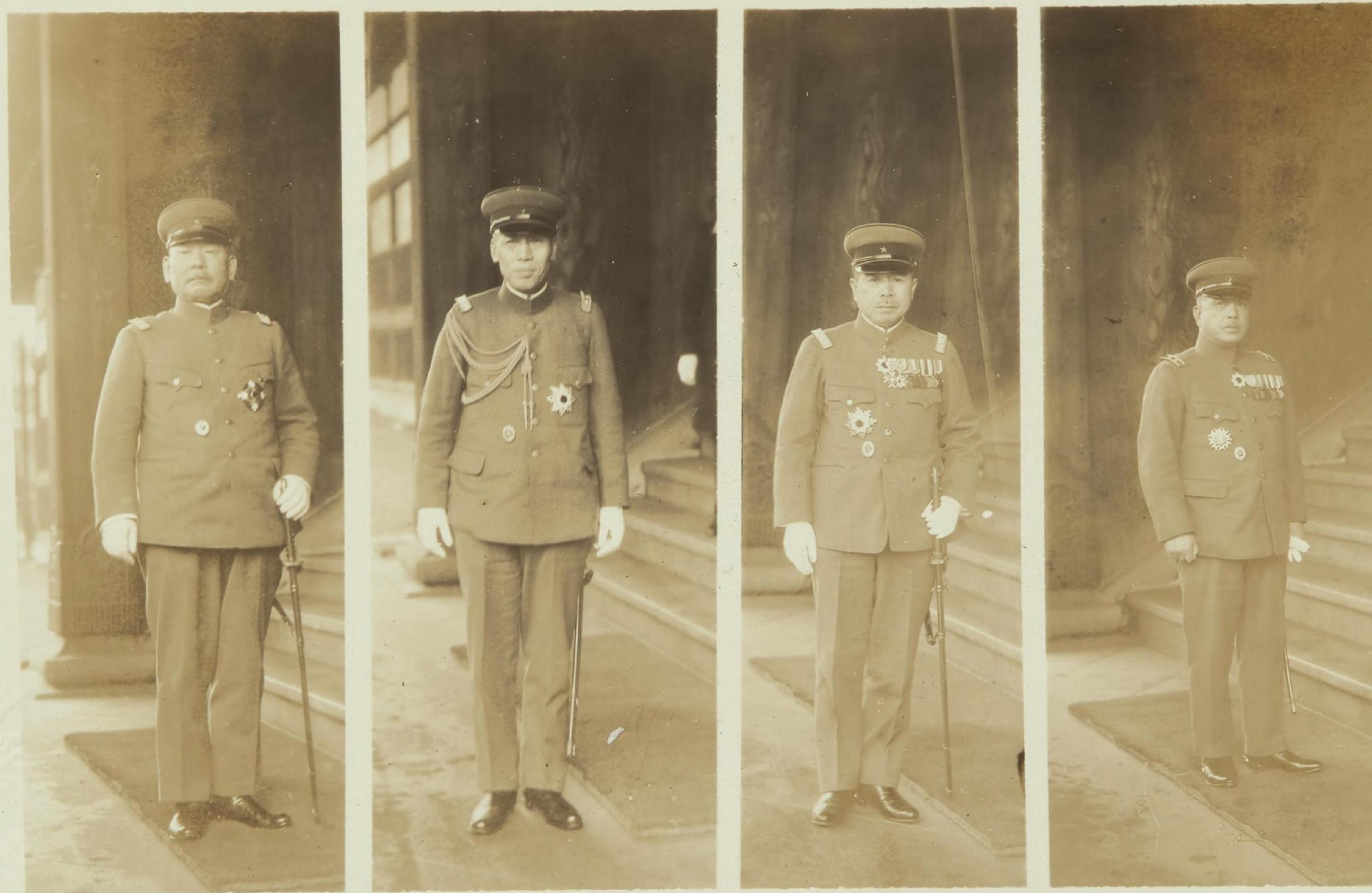
南大將他五將官に

(東京) 十一年四月十三日

畏き邊りでは去る六日偉勳に輝いて滿洲より
歸つた前關東軍司令官南大將以下凱旋五中將
に對して陪食仰付られる旨仰出されたが、春
雨降りそゞ十三日正午此の光榮を拜した南
大將始め岩越、西尾兩中將及び先に凱旋せる
中村孝太郎、外山豐造、梅津美治郎各中將は
宮中に參内、天皇陛下には豐明殿に出御あら
せられ閑院元帥宮、朝香、東久邇兩軍事參議
官宮各殿下御臨席、寺内陸相、湯淺内府、松
平宮相、宇佐美侍從武官長等にも陪席差許さ
れて六將軍に對して午餐の陪食仰付られ、終
つて別殿に於て茶菓を賜はり陛下には種々優
渥なる御言葉を賜ひ午后一時過ぎ六將軍は感
激に面を輝かして夫々宮中を退下した

寫眞は

南大將 西尾中將 外山中將 岩越中將



同盟 寫眞ニユース 第一號

◎羅馬尼公使信任狀捧呈

(東京) 十一年四月十四日

駐日ルーマニア國特命全權公使ジョルジュ・
ジエロブドイセスコ氏は今回代理公使より公
使に陞任したるに付、十四日午前十一時麻布
區材木町の同公使館を大久保迎引式部官同乗
の宮内省差廻し自動車にて宮城に參内、同十
一時十五分有田外相待立の下に宮中鳳凰の間
にて天皇陛下に謁見仰付らるるを以てしぐ信條狀
を捧呈、陛下より優渥なる勅語を賜はつたが
畢いて同公使は夫人同伴にて桐の間に參進、
皇后陛下に謁見仰付られた

寫眞は

一、公使館にて



同盟 寫眞ニユース 第二號

◎法然上人忌一武者行列

(東京) 十一年四月十四日

法然上人第八百八十九御忌會は芝増上寺で舉行、十四日は午后零時半から芝大門を出發本堂に掛けて寺侍五十人の稟々しい武者姿と可愛らしい三百人の稚兒行列を行つた

寫眞は

一 武者行列

稚兒



同盟 寫眞ニユース 第一號

◎勳一等親授式

(東京)十一年四月十五日

天皇陛下には十五日午前十一時宮中鳳凰間に
出御廣田首相、下條賞勳局總裁等侍立の下に
勳章親授式を行はせられ御前に參進せる池田
大審院長、大井京大教授にそれぞれ勳一等瑞
寶章を御親授、首相より勳記を受け陛下入御
遊ばされた、又同日頼母木遞相、永田拓相に
對しても敍勳の御沙汰あらせられた

寫眞は

一、參内の池田大審院長



同盟 寫眞ニユース 第二號

◎政務官初顔合

(東京) 十一年四月十五日

十四日の閣議で決定任命された各省政務次官
参事官は十五日午前十一時首相官邸に至りそ
れぞれ辭令を受け同三十分より官邸内會議室
に於て初顔合を行ひ今後の連絡方針對議會策
に關して協議した

寫眞は

一、首相官邸にて



◎壽美の仇姿に見惚れて……
フランク博士一行の撮影

(東京)十一年四月十五日夜

「花のほかには松ばかり」花も盛りの十五日
夜白拍子花子實は狂言師左近に扮した花柳壽
美さんが、お弟子さん六人の青道心を相手に
舞臺一杯に踊りまくる、これはフランク博士
一行のカメラマン、ハンス・ウォルター・ベ
ツツ氏に懇望される傍ら文化振興會で海外向
きに編纂する「日本文化と生活寫眞集」のた
め特に演ずる奴道成寺だ、明るい六本木の新
稽古場舞臺に派手な背景を飾りたて「賑やか
に踊る壽美さんのあて姿にベツツさんすつか
り見とれてカメラも疎になつてゐた

寫眞は

一、壽美の奴道成寺



◎陸軍花嫁學校開講式

(東京)十一年四月十六日

財團法人義濟會が昨年開設した陸軍の花嫁學校は既に二百數十名の花嫁候補を世に送つたが今年も「第二回日本婦道講習會」と名づけて十六日午前九時から千駄ヶ谷五丁目の聖和學園で開講式をあげた、校長大島健一中將の訓示、陸軍關係者の祝辭等があつたが今年の受講者は二百三十五名の多數に達し鹿兒島、山口、鳥取、姫路、篠山、仙臺等からはるばる上京したお嬢さんもあり例によつて服装は銘仙以下、洋装は禁止といふ質素なもの、非常時女性の意氣組がみちてゐた寫眞は

一、開講式



同盟

スケッチ寫眞

四月十七日

◎／＼／＼のぼり



◎南大將招宴、首相官邸にて

(東京) 十一年四月十七日

廣田首相は十七日の閣議終了後正午より首相官邸に前關東軍司令官南大將を招待し、閑院參謀總長宮殿下の台端を仰ぎ、南大將、廣田首相以下各閣僚西尾參謀次長、梅津陸軍、堀内外務兩次官^等出席し先づ廣田首相の挨拶に對し南大將の謝辭あり、午餐を共にしながら滿洲問題に關し懇談を重ね午後二時過ぎ散會した

寫眞は

一 向つて左から南大將、閑院宮、廣田首相



◎フオイヤマン再び來朝

↓有名な捕鯨博士も同船

(横濱) 十一年四月十八日

横濱入港のジャパン號でカザルス、マルシャ
ルと共に世界三大セロ演奏家といはれるフオ
イヤマン氏夫妻、伴奏のレグナー氏外多數知
名の士が來朝した。フオイヤマンは二度目の
訪問だが半年前に伯林でエマン新夫人と結婚
して新婚旅行をも兼ねて居り約三週各地で演
奏會を開く筈、紐育自然科學博物館長アンド
リユース博士はゴビ沙漠の探檢家として有名
で一九一〇年から一二年には日本に來朝東洋
捕鯨會社の捕鯨船に乗込んで日本の捕鯨研究
に没頭し現在ニユーヨーク同博物館の世界最
大の鯨は同氏が捕獲したものである

寫眞は

一、フオイヤマン夫妻と伴奏家

二、アンドリユース博士夫妻



同盟 寫真ニユース 第四號

◎宇直、渡邊兩家のお目出度

(東京) 十一年四月十八日

宇直朝鮮總督令嬢秀子さん(二三)は高松家
別當渡邊勝三郎氏三男和雄氏(三〇)と元東
拓理事澤田豊文氏夫妻の媒酌により十八日飯
田町大神宮で華婚の典を舉げた、新郎和雄氏
は鐵道省勤務の工學士、新婦秀子さんは双葉
高女出の才媛である

寫眞は

二、新郎新婦と宇直さま



同盟通信 寫眞ニュース 號外

◎明治廿五年の
外國行年賀狀

(東京) 十一月十八日

廿日は逓信省創立五十周年記念日なので盛大な記念式を行ふがこの時に當り逓信當局が血なまこになつて探してゐた貴重な文獻、明治廿五年消印の我國最初の外國行年賀郵便が發見された、これはたまたま整理中の逓信博物館の倉庫から十八日午後見出されたもので木版色刷り、逓信省前路上の賑ひを描出し遠くに富士をのぞかせて日本情緒を浮び出させてゐる、本文は佛文で「日本國逓信省は一八九二年の新年を祝福する光榮を有つ」とある、この珍品の出現で省内は次官以下局長連盡く大喜び

寫眞はその年賀狀



恭賀新年

*Le Ministère des Communications
du Japon
a l'honneur de présenter les meilleurs
souhaits pour la nouvelle année.*

189

明治二十五年一月一日

◎遞信殉職者慰靈祭

(東京) 十一年四月十九日 遞信記念日に先立つて十九日午前十時
卅分から遞信省で創業以來の殉職者一千十一名の慰靈祭が舉行され
參列者は全國各遞信局管内から上京した遺族三百餘名に賴母木遞相
以下次官各局課長及來賓には小泉元遞相、大橋八郎氏等の顔も見れ
た、式は靖國神社賀茂宮司齋主となり修殿招魂獻饗の儀が奏樂裡に
嚴かに行はれ賴母木遞相及び來賓を代表して小泉又次郎氏の祭幣に
次ぎ齋主以下大臣、次官、遺族等の玉串、奉奠あつて十一時四十分
式を閉ち南北大食堂に於て晝餐を共にし散會した。尚地方から上京
した遺族の希望者には遊覽自動車を提供して市内を見物せしめた

寫眞は慰靈祭



◎義宮様へ五月人形献上

(東京) 十一年四月二十日

愈々御健かに御成育遊ばされる義宮様には薫風
の五月五日端午の初節句をお迎へ遊ばされる
が義宮様の御武運御長久を壽ぎ奉り勇壯美
麗な五月人形が献上されることとなつた。日
本人形協會からは高さ一尺五寸横二尺五寸の
白馬、宇佐見永冪氏謹製、東京雛人形商組合
から鎌倉初期の武將と家臣を渡邊玉翁氏謹製
兩者とも西澤笛畝、小堀阿岐良兩畫伯が指導
心魂を傾けて謹作したものであるが近く清浦
奎吾伯を通じ宮内省に献上することとなつて
ゐる

寫眞は

一、献上の武者人形



◎ラヂオ体操會に

平生文相の訓話

(東京) 十一年四月二十日

小石川區窪町尋常小學校では二十日午前七時四十五分からARK主催江木理一氏指導のラヂオ体操會を催し同朝八時から平生文相が來校して全校職員生徒一同に朝禮訓話をし同校から全國へ中繼放送された

寫眞は

平生文相の訓話



◎川岸、中山兩將軍拜謁

(東京)十一年四月廿一日

滿洲に於て川岸部隊長の勇名を馳せて今回第十二師團司令部附に補せられた川岸文三郎中將並に同じく滿洲より凱旋した新任軍馬補充部本部長中山薫少將は廿一日午前十一時三十分宮中に參内、表御座所に於て宇佐美侍從武官長侍立の下に天皇陛下に拜謁仰付られそれぞれ軍狀を奏上したるに陛下には種々有難き御言葉を賜ひ、兩將軍は光榮に感激して正午御前を退下した

寫眞は

一、參内の山岸中將(向つて左)と中山少將
(於て東車寄)



◎井上演藝道場
―道場開き―

(東京)十一年四月廿一日

新劇と新派の接近を企圖してゐる井上正夫一
座がこれから新らしく苦難の道を歩み藝道の
修業を積まうといふ「井上演藝道場」は芝居
明舟町二二、明舟荘に創設、廿一日午後一時か
ら道場開きを行つた、集まるもの井上正夫を
始め藤村秀夫、女優車では岡田嘉子、森赫子
森律子、村田嘉久子、村田みね子の面々若さ
と綺麗さに於いては已に臺の立つた連中だが
藝道精進の熱心さは溢れて氣勢當るべからざ
るものがあつた

寫眞は

一、(前列向つて右から)藤村、井上、嘉子
赫子、律子、嘉久子、みね子



同盟通信

海外寫眞ニュース

四月廿二日

◎ 頻死の國際聯盟に

この豪壯な建物

(ジュネーヴ) 發同盟

獨逸のラインランド非武装地帯進軍や伊エ紛争をめぐつて完全な弱體振りを發揮して「世界一の無能な浪費者」と呼ばれてゐる國際聯盟に時もあらうに近頃寫眞の様な豪壯な事務局建物が完成して引越しを始めてゐる

寫眞は完成した豪壯な國際聯盟の新建物と

その引越し







◎ 飒爽たる姿で
流線型機關車晴の都入り

(東京) 十一年四月二十三日

この程完成、沼津機關庫に配屬された流線型
電氣機關車Ⅱ・Ⅲ五五型が廿三日午前十時十
分東京驛着廿八列車(大阪發)を沼津から牽
引晴の都入をした、見るからにスマートなこ
の機關車が今朝引つばつたのは客車十六輛と
いふなかなかの重荷だつたが結果は上々の成
績、なにしろ本格的の流線型電氣機關車が東
京驛頭に姿を現すのはこれが初めて、大事な
試運轉といふので沼津からは本省の手塚購買
第一課長、辻堂からは運轉課の大谷技師が出
張、驛頭には高原運轉課長以下技師連が心配
氣に出迎へたが「非常に具合良く九十五軒位
平氣で出ます」との磯崎機關手の報告を聽い
て大満足、かくて最初の任務を果した
寫眞は

一、東京驛にて



◎何はともあれ早慶戦

(東京) 十一年四月廿三日

曇つた空から冷やりとした風がグラウンドの飛
脂の旗と三色旗をはためかした、廿三日の神
宮球場兩方とも負け通しの不成績であらうと
も、ランキングには關係のない送別試合であ
らうとも：そんなものは何處かへ飛んじまへ
早大廿五勝、慶應廿三勝、一引分、今度は五
十回目、しかもこの試合だけの一發早慶戦だ
相變らず天下を二つに分けて興奮の渦きに叩
き込むべく何の不足もない、午後一時半、試
合開始、藤田球審のプレイボールの聲が響い
た瞬間グラウンドに湧き上つた歡譁はつまり何
時もの早慶戦の身上だ

寫眞は

二、雨軍の旗の掲揚
一、四回裏同十大鶴崎の中野操打に三塁手の
海堂ホムイン



同監

スケッチ寫真ニユース

四月廿四日

◎滿洲高脚踊り實演

廿四日朝入京の滿洲國高脚踊りの一行廿三日
は觀光局主催で開催中の國際觀光博に出場、
滿洲國の原始的民族舞踊として有名、丈餘に
及ぶ竹馬に乗つて怪奇な踊りを實演した
寫真は

一、觀光博に於ける實演



◎山東省主席韓復榘氏
聯合艦隊公式訪問

(青島) 發同盟 (四月廿四日)

北支の惑星山東省主席韓復榘陸軍大將は我聯合艦隊司令長官高橋三吉大將の招待に應じ十七日午前十一時初めて新調したと云ふ陸軍大將の制服を着用、旗艦長門に高橋司令長官を訪れ濟南駐在西田總領事の通譯で約廿分間會談、終つて艦内見學に驚きの言葉を殘し退艦するや同艦は中華民國陸軍大將に對する禮を以て十九發の禮砲を放つなど初めて味はつたこの光景に感激した

(寫眞は向つて右から西田濟南總領事、韓山東省主席、高橋司令長官、一人おいて石野駐濟南武官、聯合艦隊檢閱濟、海軍省檢閱濟み)